

登壇者一覧

<ファシリテーター>

- ① 小笠原 伸 白鷗大学ビジネス開発研究所 所長、白鷗大学経営学部 教授

<パネリスト>

- ② 植田 裕司 ヤフー株式会社 オフィス・経営支援本部 コワーク推進部 部長
- ③ 岡 秀樹 コワーキングスペース秘密基地 代表、株式会社HOA 代表取締役、
一般社団法人まちはチームだ 代表理事
- ④ 坂本 大祐 合同会社オフィスキャンプ 代表社員
- ⑤ 土山 広志 株式会社リビタ 資産活用事業本部 地域連携事業部長
- ⑥ 堂野 智史 公益財団法人大阪市都市型産業振興センター クリエイティブ産業推進部
部長 兼 メビック扇町 所長
- ⑦ 野口 純一 結城商工会議所 経営指導課 係長
- ⑧ 星野 邦敏 株式会社コミュニティコム 代表取締役、
一般社団法人コワーキングスペース協会 代表理事
- ⑨ 土屋 武大 国土交通省 国土政策局 総合計画課・広域地方政策課 広域政策企画官

おがさわら
小笠原 伸

白鷗大学ビジネス開発研究所 所長
白鷗大学経営学部 教授



＜経歴＞北海道岩見沢市出身。
北海道札幌南高校、早稲田大学政治経済学部卒業。同大大学院理工学研究科建設工学専攻修士課程修了後武蔵野美術大学映像学科助手、早稲田大学WABOT-HOUSE研究所副所長を経て2014年白鷗大学経営学部教授、2018年白鷗大学ビジネス開発研究所所長。Facebook「紅茶党党首のお茶会」グループを運営。

＜活動内容＞

- 地域デザイン、地方創生、新産業創造などの研究を行う
- 国土形成計画に知恵の場、対流創出の「熱源」の必要性を指摘
- 茨城県結城市まち・ひと・しごと創生推進会議、郡山市中心市街地活性化懇談会などでの助言を行う

うえだ
植田

ゆうじ
裕司

ヤフー株式会社
オフィス・経営支援本部 コワーク推進部 部長



＜経歴＞和歌山県海南市出身。
和歌山大学大学院システム工学研究科修士課程を経て、2007年にヤフーに入社。
テレビ向けサービスの開発、Yahoo! JAPANアプリの開発部長、PMを担当。並行して新オフィス移転PJに参画。LODGEの立ち上げに携わり、2016年4月より現職。
特技:料理

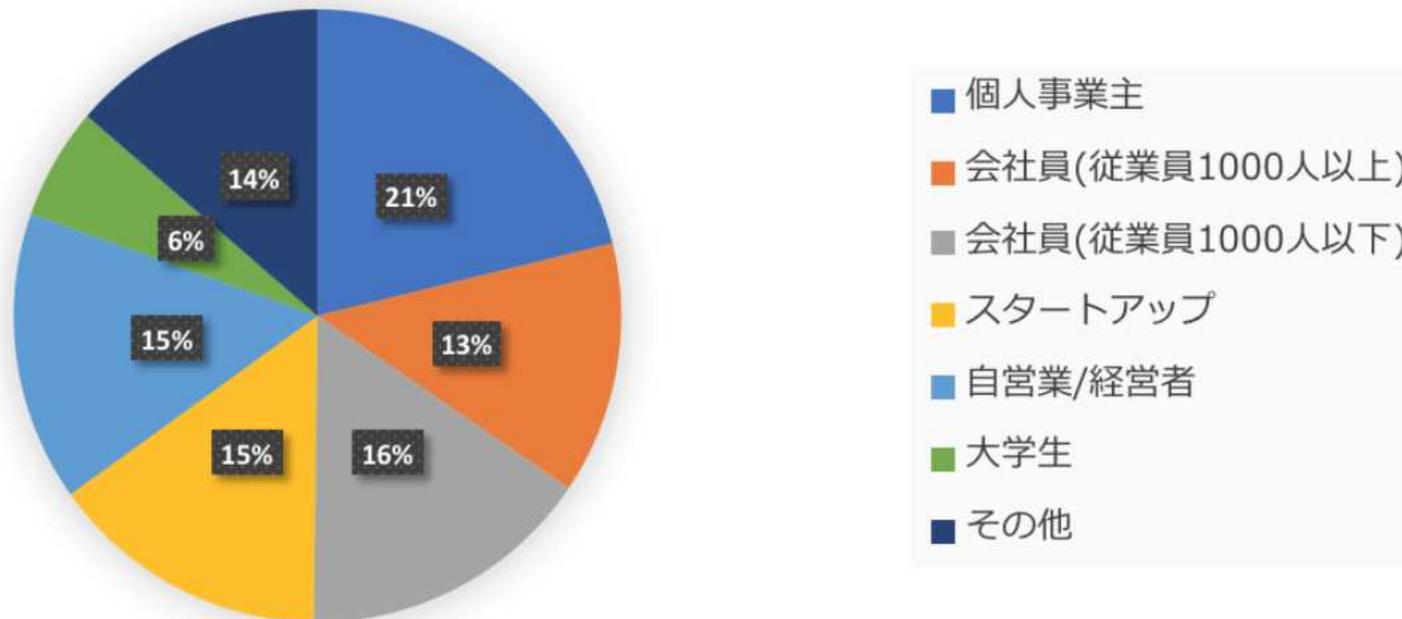
＜活動内容＞

○LODGEを通じて社内外の情報の交差点を生み出し、ヤフー社員だけではなく、社外の方にとってもオープンイノベーションな働き方を体験してもらい、世の中の働き方を変えたいと考えている。

LODGEの利用者

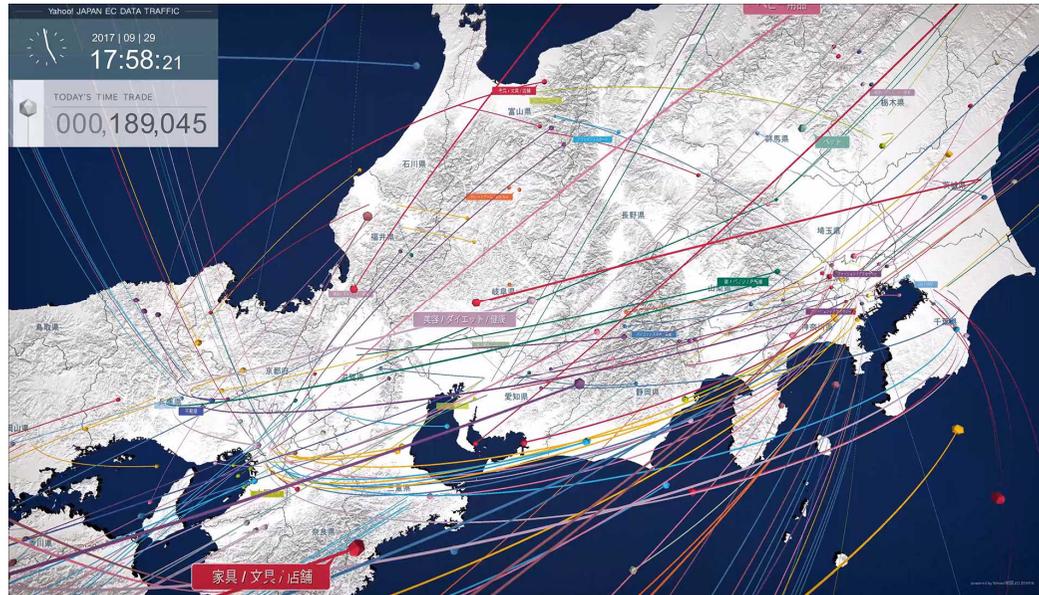
毎日約320人、累計158,468人が利用

※ 2016/11/1～2018/5/21の実績より



※ 2018年2月実施アンケートより

LODGEから生まれたプロダクト例



「EC DATA TRAFFIC」

3D開発のスペシャリストとヤフー社員が出会い、自身の業務に3Dの知見を取り入れてリリース。

LODGEがやりたいこと

ヤフーと社会に
「困った時に臆面もなく他人の力を借りれる」や、
「井の中の蛙にならない」といった
オープンイノベーションな働き方を
インストールしたい

おか
岡

ひでき
秀樹

コワーキングスペース秘密基地 代表
株式会社HOA 代表取締役
一般社団法人まちはチームだ 代表理事



＜経歴＞福岡県北九州市出身。
豊橋技術科学大学建築・都市システム学卒
Architectural Association school 中退。
アイルランドの大工らと共にロンドンで工務店
を開業。設計・施工・シェアハウス事業を行う。
2004年帰国、一級建築士事務所を経て、設
計コンサルティング業を開始。現職に至る。
2014年秘密基地設立。

特技：事業構想・建築設計（海外案件得意）

＜活動内容＞

○コワーキングスペース普及のため、哲学や機能面（ソフトハード両面）を支援。またCSV+ローカルコミュニティ戦略を用いて、交流の密度をアップさせ、まちづくりにインパクトある成果を挙げている。日本最大のFB地域団体を運営。直近は、国の縮退傾向において、日本人のアップデートの機会と捉え「日本人3.0」を考えている。

コワーキングスペース秘密基地



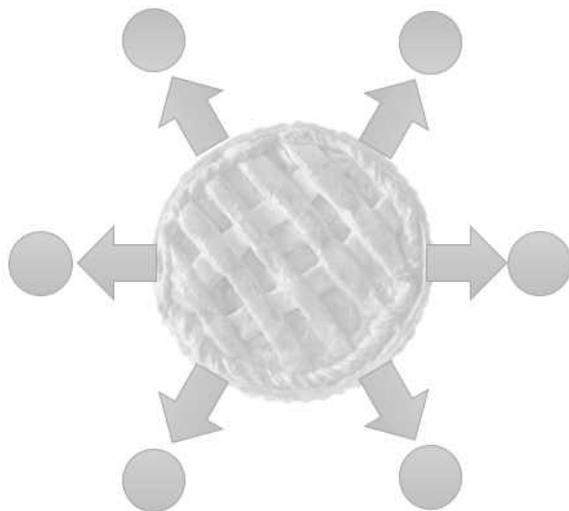
PHYLOSOPHY

「競争する社会（資本主義）」から
それぞれの幸せを実現する「創発する社会」へ。

【競争する社会】

奪う + 所有する → 成功する

- 限られた資源をいかに得るか（奪うか）
- どれだけ多くの資本を持つか（所有する）
- いかに自分が強い立場になるか（成功する）

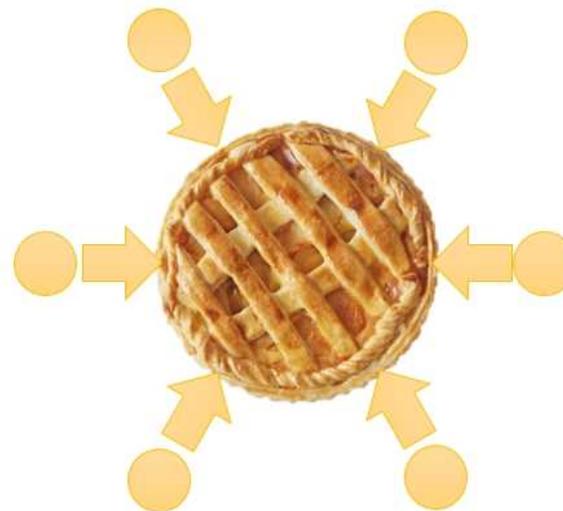


転換

【創発する社会】

貢献する + 共有する → 幸せになる

- いかに自ら価値提供するか（貢献する）
- どれだけ多くを分かち合うか（共有するか）
- いかに全体が満たされるか（幸せになるか）



創生塾で検索 → souseijuku.com

秘密基地が生み出すインパクト



ビジネススクール「創生塾」

受講者数: 12,000人

創業者実績: 40人(社)



おもてなし規格認証 付与団体

認定事業社: 10社



北九州フードフェスティバル

2014年: 15,000人

2015年: 30,000人

2016年: 35,000人

2017年: 12,000人



クロスロードマルシェ

2016年: 750,000人

2017年: 870,000人

道路の国家戦略特区活用



キタキューウマンプロジェクト

PV数: 400,000人

**年間10億円程度
の経済効果を創出**

さかもと だいすけ
坂本 大祐

合同会社オフィスキャンプ 代表社員



＜経歴＞大阪府大阪狭山市出身。
大阪府立美原高校、京都建築大学校を卒業。
建築事務所、インテリアショップ等を経験。その後、和歌山県にある有限会社ファーロデザイン事業部、株式会社丸和デザイン事業部を経て、デザインの個人事務所を大阪で開業。平成28年合同会社オフィスキャンプを設立し、代表社員となる。

＜活動内容＞

○平成18年、大阪から奈良県・東吉野村へと拠点を移す。移住後は商品やプロジェクトなどを手がけるディレクタとしてさまざまな案件に携わる。平成27年「オフィスキャンプ東吉野」設立時にも企画からデザイン、運営までを担当。東吉野村を拠点に活動中。

オフィスキャンプ東吉野



オフィスキャンプ東吉野



オフィスキャンプ東吉野

- ・平成27年開業
- ・事業主体:東吉野村
- ・築100年の古民家を改装
- ・シェア・コワーキングスペース

開業から平成30年現在

- ・訪問者数:4,800人
- ・利用者数:1,100人
- ・移住者:13組26人

東吉野村

- ・人口:1,700人
- ・高齢化比率:54%

合同会社オフィスキャンプ



合同会社オフィスキャンプ

- ・平成28年設立
- ・全員移住者のクリエイティブ会社
- ・ディレクタ、デザイナー、エディタ、カメラマンなど4名が所属

周辺自治体や、各種媒体、などの主にプロモーションを担う。

昨年末からは、他府県の依頼も積極的にこなしている。

オフィスキャンプ東吉野に集まったコワーカー同士で設立した会社。
東吉野村にて登記する。

つちやま ひろし
土山 広志

株式会社リビタ
資産活用事業本部 地域連携事業部長



＜経歴＞富山県富山市出身。
新築分譲住宅を主とするデベロッパーに新卒入社し、超大規模マンション、超高層マンションなど多数の物件に関わり、企画・広告・販売・マーケティング・事業推進などの業務を担当。2008年、ストック型社会の本格的到来の機運を感じ、リノベーション事業を中心とするリビタに転職。現在に至る。

＜活動内容＞

○シェア型賃貸住宅「SHARE PLACE」の企画・運営・PR業務を経て、近年では、横浜にある大人のシェアスペースBUKATSUDO（公民連携ドックヤードガーデン活用事業）など、住宅やオフィスの枠に捉われない地域・自治体とも連携した複合型シェアスペースの企画・運営に注力している。

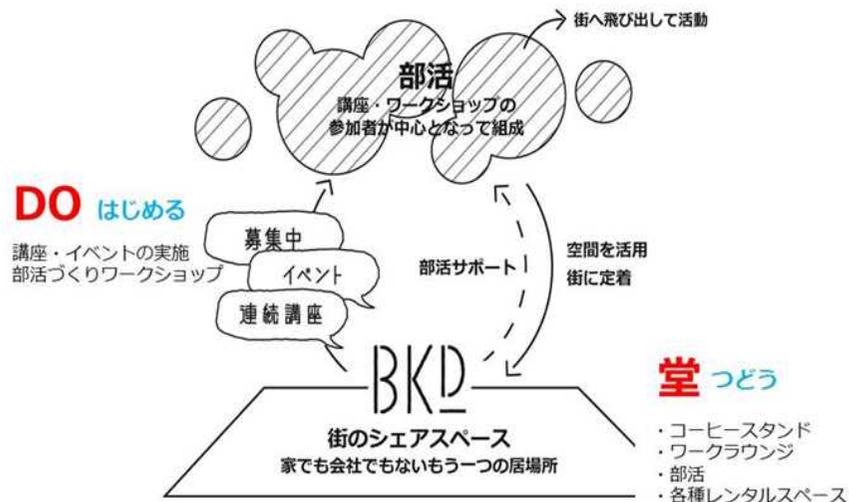
施設概要 (BUKATSUDO)



- ・年中無休(年末年始除く) 朝7時～夜23時
- ・スタッフ数18人+バリスタ1名
- ・月額延べ利用者数 約3,000人
- ・月額会員 約90人+BUSHITSU15部屋

動&道 うごく&まわめる

参加者が中心となり
地域に多様な「部活」を創出



神奈川県横浜市での活動



- ・横浜市他との公民連携事業であることから横浜市主催イベントへの参画・協力多数。
- ・利用者(各種BUKATSU)による地域参加も多数



多種多様なシェアスペースの企画運営

【直営施設】



・住宅・オフィス・ホテル・商業施設など
多様な用途の建物に「働く」「暮らす」
「遊ぶ」「学ぶ」といった生活者の行為
を受け止める多目的シェアスペースの
企画運営を行っている。

【業務委託・運営コンサル】



【直営ホテル(参考)】



どうの
堂野

さとし
智史

公益財団法人大阪市都市型産業振興センター
クリエイティブ産業推進部 部長 兼 メビック扇町 所長



＜経歴＞大阪府交野市出身。
大阪府立四條畷高校、岡山大学文学部、
同大大学院文学研究科修士課程修了を経て、
1989年4月、財団法人日本システム開発研究
所入所。2003年5月現財団に転職し、メビック
扇町初代所長に就任。2018年4月同財団クリ
エイティブ産業推進部部長を兼務。関西大学・
奈良県立大学非常勤講師。

趣味：フルマラソン（PB：3時間26分46秒）

＜活動内容＞

○メビック扇町では、クリエイターの情報発信、ネットワークづくり、人材育成等に取り組み、クリエイティブクラスターの創生に向けたコーディネート活動を実践。産学官民の有志とともに、関西ネットワークシステム（KNS）を立ち上げ、フラットな関係性に基づくインフォーマルコミュニティづくりに奔走中。

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町とは？

大阪で活動する1万数千社のクリエイティブ産業の活動を支える**中核的な産業支援施設**

※イベント、集客交流活動、テナント運営、貸会議室運営等は、いずれも産業振興のためのツールであり、目的では決していない。
また、広告代理店的機能を担う施設でも、個人的な創作活動に勤しむアーティストを支える芸術文化施設でもない。

設置：大阪市経済戦略局
運営：(公財)大阪市都市型産業
振興センター



- 2003.5 大阪市水道局扇町庁舎(S.11年建築)内でオープン「扇町インキュベーションプラザ」
- 2010.3 耐震強度不足のため退去、準備室へ移転
インキュベーション施設は廃止
- 2011.3 カンテレ扇町スクエア3階でリニューアルオープン「クリエイティブネットワークセンター大阪」



交流スペース1



交流スペース2



交流スペース3



ロビー

■ 基本的考え方 イノベティブな関係性が生み出される“場”を創る

交流・連携には「・」が重要

「人」と「人」との良好な関係性の構築が必要 → 関係づくりの「場」としてのコミュニティの重要性

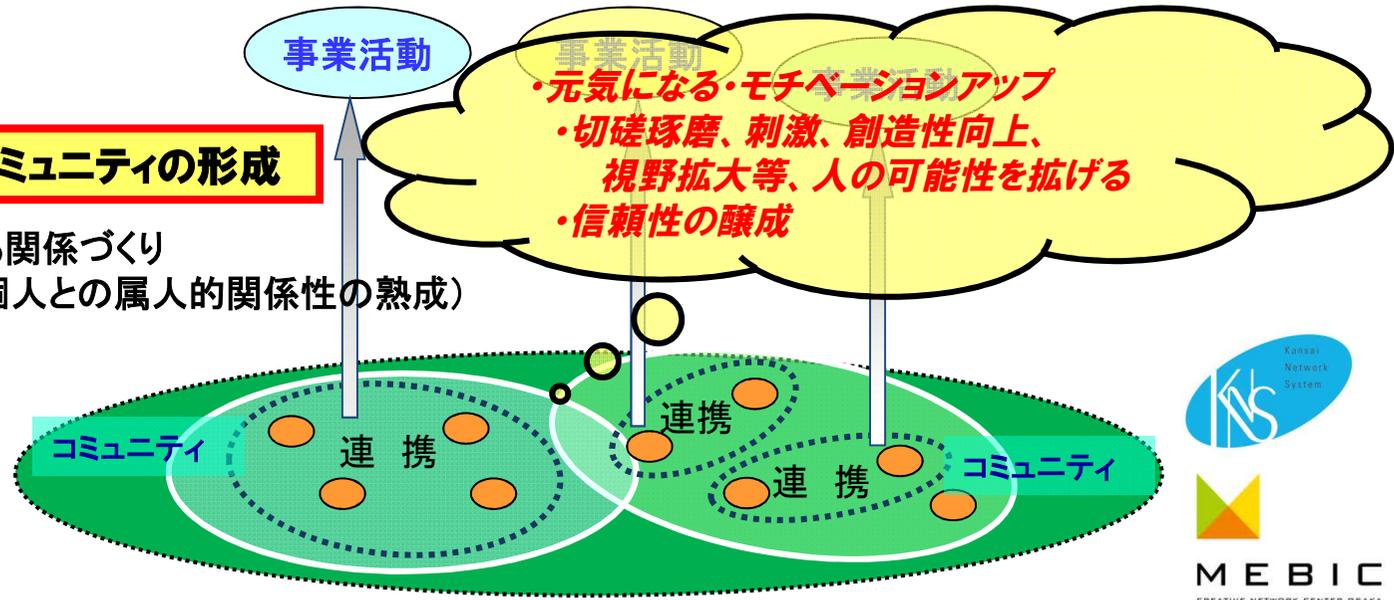
一足飛びには行かない

3 事業成果(コラボレーション)

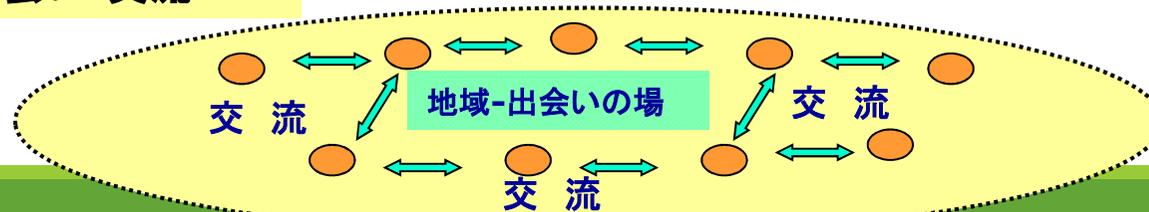
信頼性の醸成 → イノベティブな関係性へと発展 → 結果的に事業成果が出る。

2 コミュニティの形成

顔の見える関係づくり
(個人と個人との属人的関係性の熟成)



1 出会い・交流



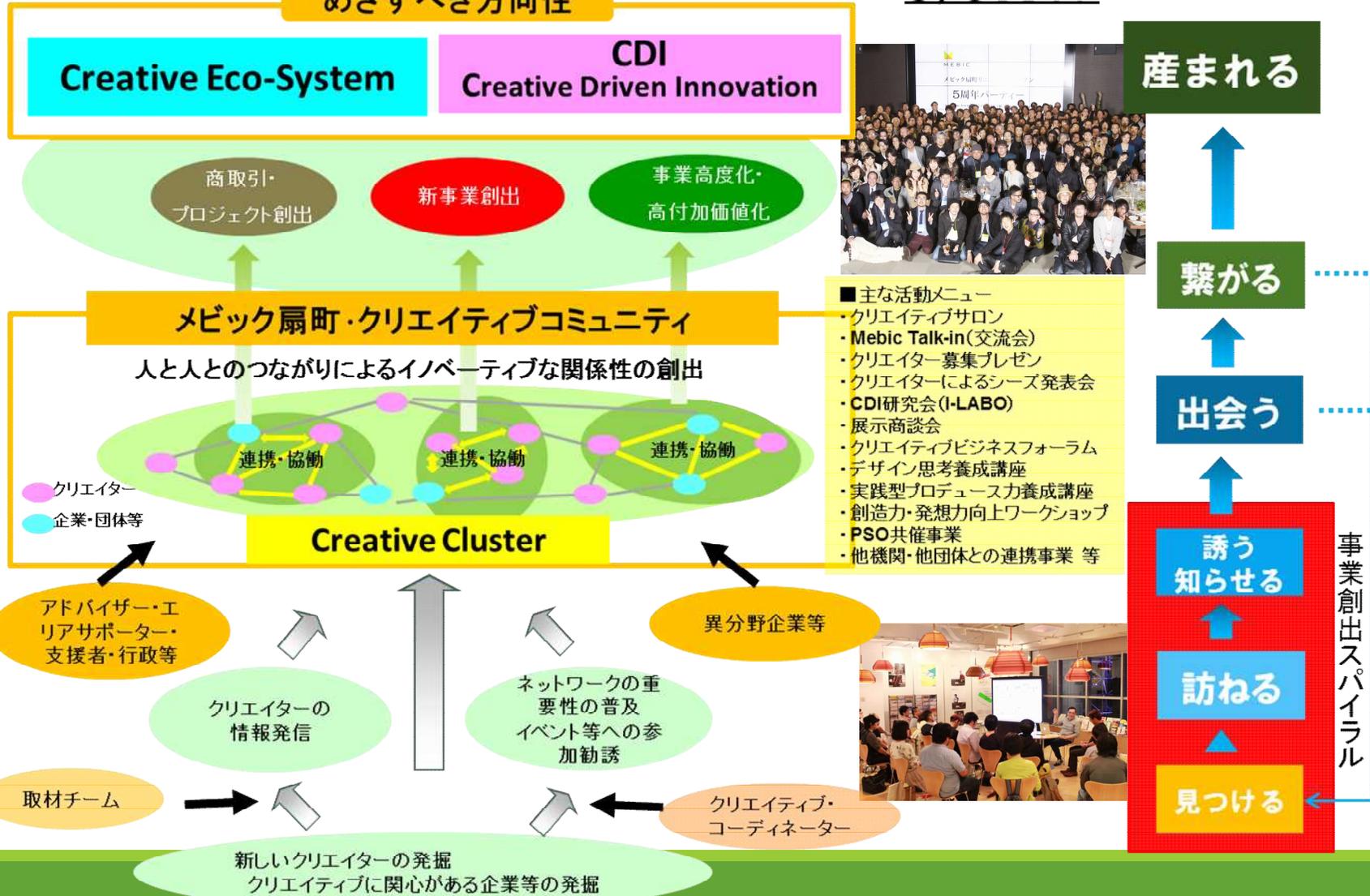
MEBIC
CREATIVE NETWORK CENTER OSAKA

メビック扇町ーめざすべき方向性と活動のシナリオ

(事業創出スパイラル)

めざすべき方向性

2017年末時点 **3,017件** のコラボ事例を確認済



のぐち

じゅんいち

野口 純一

結城商工会議所 経営指導課 係長



＜経歴＞茨城県古河市出身。

2002年アパレル企業入社後、2007年退職。同年結城商工会議所へ入所。2009年より現職。翌年第三セクターの街づくり会社（株）TMO結城）の事務局担当をきっかけに結いプロジェクトを飯野氏と立ち上げる。その他、商業者外郭団体（結城市商地連）の事務局も担当。

趣味：結いプロジェクトの活動（アート、音楽、ファッション）・アウトドア（キャンプ）

＜活動内容＞

○結いプロジェクト2010年結成。茨城県結城市を舞台に人やモノの縁を結ぶ活動をしています。ものづくりのお祭り「結い市」、音楽祭「結いのおと」の企画運営をはじめ、「結い暖簾」アートプロジェクトや地域資源を活かした商品開発など年代や立場を超えたたくさんの仲間が活躍しています。

結いプロジェクトの主な活動

結い市

結いのおと



むすぶ
しごと
LAB.



地域資源やそれぞれのライフスタイルに根ざした小さな経済活動からコミュニティが発生

コワーキングスペース

<情報交換・学び・仕事の間>

- ・人が集まって情報交換、交流ができる
- ・仕事ができる、生み出せる
- ・仕事のスキルや文化が学べる

シェアスペース

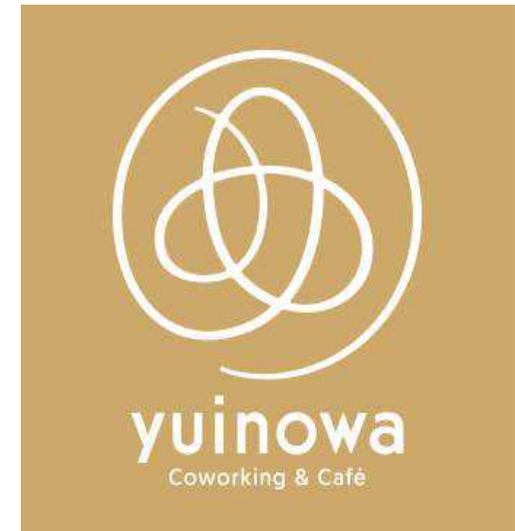
<発信・コミュニティ形成の間>

- ・自ら発信をした
- ・コミュニティを作りたい

チャレンジショップ・チャレンジキッチン

<出店準備・コミュニティ形成の間>

- ・店を開きたい人のトライアルの間の提供





ほしの
星野

くにとし
邦敏

株式会社コミュニティコム 代表取締役

一般社団法人コワーキングスペース協会 代表理事



＜経歴＞埼玉県さいたま市出身。

中央大学法学部法律学科を卒業。大学卒業後、約5年の無職ひきこもりを経て、2006年から税理士法人に勤務。同時に副業でIT事業を始める。副業の収入が増えて、2008年に株式会社コミュニティコムを設立。東京を拠点にしていたが、2012年に生まれ育った埼玉県さいたま市に会社を移転。「コワーキングスペース7F(ナナエフ)」の運営を始める。

＜活動内容＞

○埼玉県さいたま市で「コワーキングスペース7F」、「シェアオフィス6F」、「貸会議室6F」の運営。Yahoo!ニュースなどにもコンテンツ配信している「大宮経済新聞」の編集長、一般社団法人コワーキングスペース協会の代表理事、一般社団法人さいたま市地域活性化協議会の代表理事なども務める。

施設概要



- ・年中無休 朝7時～夜23時
- ・スタッフ数32人 全時間帯受付常駐
- ・月額延べ利用者数 約6,000人
- ・月額会員 約120人＋個室17部屋



埼玉県さいたま市での活動



- ・さいたま市内でイベント主催や後援
- ・「埼玉県さいたま市の地域活性化を考える勉強会」の定期開催
- ・「大宮経済新聞」で街の取材を毎日

コワーキングスペース業界の活動



- ・一般社団法人コワーキングスペース協会の代表理事として活動
- ・「コワーキングスペース運営者勉強会」の主催(ほぼ毎月開催で約50回)

つちや たけひろ
土屋 武大

国土交通省 国土政策局
総合計画課・広域地方政策課 広域政策企画官



＜経歴＞北海道小樽市出身。
北海道立小樽潮陵高校、東京大学薬学部、
同大大学院薬学系研究科修士課程(中退)を
経て、平成14年4月、経済産業省入省。
同省商務情報政策局サービス政策課を皮切
りに、電力安全政策、石油流通政策、在インド
ネシア日本大使館、内閣官房、通商政策等を
経て、平成29年7月より現職。
特技:剣道(錬士六段)

＜活動内容＞

○総合計画課では「稼げる国土専門委員会」で地域の独自の個性を活かした産業振興、広域地方政策課では広域連携の促進による地域活性化の推進を担当することを通じて、第二次国土形成計画の基本構想である「対流促進型国土」の実現に向けた取組を推進。